



公益社団法人 鳥取県人権文化センター

災害と人権 広域避難

11年目の春を、 どんな思いで迎えていますか？

東日本大震災から10年が経過しました。鳥取県に避難してきた人は、現在、約70人(30世帯)^{※1}です。今の思いを伺いました。

当時、赤ちゃんだったからよくわからない。今、友だちいっぱいいるし。福島のおばあちゃんには会いたいな。
(10代)



鳥取の人にはよくしてもらったよ。この先帰るかどうかわからない。でもだんだんと遠のいていくな〜
(40代)



今も震災がなかったら…って思う。去年はコロナで追い打ちを受けた感じ。10年経っても何も変わらない。心が癒えることはない。そもそも「復興」って何？
(50代)



友達には何も言わず離れてしまったから、友達とはちゃんと話したい。「今、自分になりたい職業も決まっています、頑張るから」って。
(10代)



今も昨日のことに覚えているよ。でも、もう鳥取で暮らしていく覚悟を決めている。ここの生活を考えたいんだ。
(70代)



鳥取に家を購入しました。これから大変だけど、仕事も見つかってここでの新たな生活をスタートさせています。
(40代)



とり助

「十年一昔」と言うけれど、地震、津波、原発事故…、あの日からもう10年が過ぎたんだね。被災した人は、それぞれがそれぞれの思いで、全国各地に避難したんだよね。

暮らし慣れた生活の場を離れて避難することを「**広域避難**」というんだよ。広域避難となると、もう生活そのものが根底から覆されるよね。震災1年目には鳥取県内に200人以上(100世帯)^{※2}が避難してきたんだ。鳥取県や各市町村も様々な手立てを打って、避難した人を受け入れてきたんだよ。

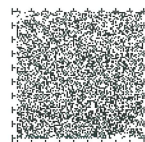
※1、2…鳥取県避難者受入れ状況データより



ふらっちょー

Uni-Voice

文字情報を音声で読み上げるための「音声コード」です。お持ちのスマートフォンに、音声コードリーダーアプリ「Uni-Voice」(iOS/Android版)、又は「Uni-Voice Blind」(iOS版のみ)をインストールしてご利用ください。





毎年のように災害が起こる日本は、正に災害大国。だからこそ災害についてはいつも意識しておきたいし、被災後、何が必要になるか等も知っておきたいね。今回は長期的・広域避難の視点に立って、どのような生活支援が必要だったか思い出してみよう。東日本大震災の後、鳥取県へ避難して来た人たちに対して、こんな取り組みがなされてきたんだよ。



住居

県・市町村の公営住宅や民間から借り上げた住宅を無償で提供。生活を一からスタートさせるためにはとても大切。

仕事

仕事がないと先々に渡り十分な収入を得る事ができない。当初は避難者雇用枠での就労。その後、ハローワークの避難者専門窓口での相談。

戸別訪問

避難者の孤立を防ぐと共に、生活状況の聞き取り等をして適切な支援へつなげる。

健康相談

医療機関の協力を得て、カウンセリングや甲状腺検査を実施。

保育・就学

子どもが保育園や学校等に通うに当たり、保育料や給食費を減免措置。

心のケア

とっとり震災支援連絡協議会が、多岐にわたって避難者をサポート。相談事業の他、お茶会やクリスマス会等の交流会も実施。



とっとり震災支援連絡協議会
事務局長 佐藤淳子さん

ケース会議

避難して来た皆さんは生活を送っていく上で多様な課題を抱えています。課題ごとにソーシャルワーカー等関係者による会議を進めていき、そこで解決策が見つかる事も多々ありました。地域全体で避難者をサポートするケース会議はとても重要でした！

なるほど！生活基盤を築く上でとても大切なことばかりだね。

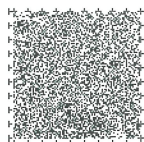


暮らし慣れた生活の場を離れて避難する広域避難は、実は誰にだって起こり得ること。平穏な日常生活の中ではなかなか気づかないかもしれないけど、「もしも…」を考えておくことが大切だよ。

支える側も支えられる側も一つ一つのサポートが「人権」につながっているということをしっかり捉えておかないといけないね。「安心して生活したい」「誰かとつながりたい」等、「人が幸せに生きるための支え」、それが人権だもんね！



日々の暮らしは地域で営まれる。行政やボランティア団体等の支援も大切だけど、これからは地域の支え合う力が試される気がするな。



とっとり震災支援連絡協議会は、災害による鳥取県への避難者を支援する団体です。各家庭の戸別訪問、相談事業、交流会等、避難の窓口として活動しています。一人ひとりに合ったサポートを心掛け、ともに支え合う地域社会の実現を目指しています。私たちに何ができるか一緒に考えてみませんか？

TEL : 0857-22-7877 メール : support@tottori-shien.org



人権ライブラリー 本・DVDのご紹介 ふらっと交流スペース 展示のご案内



今回は“ふらっと”の所蔵本・DVDの中から『障がい』をテーマにした作品をご紹介します。また、3月の展示のご案内をします。

コミック



『ムーちゃんと手をつないで～自閉症の娘が教えてくれたこと～』

作：みなと鈴／秋田書店

「他の子よりちょっと成長が遅いだけ」そう思っていたのに…。娘が自閉症かもしれないと分かった途端、歪み始める家族の形。そして、壊れていく幸せなはずの未来。それでも前を向き共に生きていくことを決意する。作者自身の実体験をもとにリアルに描写された家族の愛の物語。

コミック



『ブクロキックス』

作：松木いっか／講談社

アイマスクを着用し、音の出るボールを用いて行う5人制のサッカー、「ブラインドサッカー」。全盲の青年と多様な仲間たちが奇跡を起こす物語。ブラインドサッカーへの見方はもちろん、何かに挑戦し続ける人のかっこよさに感銘するきっかけを与えてくれる新しいサッカー漫画。

単行本



『トコトン生きるための15問』

著：玉木幸則／解放出版社

NHK「バリバラ」のレギュラー出演者が、「障がいがなかったら…と思ったことは?」「バリバラの裏話を教えて」「コロナ禍をどう思う?」などの質問に答えながら、障がいの有無に関わらず誰もが最期まで生き抜くことの大切さ、社会のあり方を、分かりやすくかつディープに伝える。

本・DVDの無料宅配サービスをご利用ください

●予約、貸出

電話、ファクシミリ、メールのいずれかで予約してください。返却用の送り状と共に宅配便でお届けします。

※ふらっとHPから本やDVDの検索ができます。

●返却

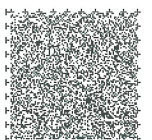
同封の送り状(ゆうパック)に必要事項を記入し、郵便局またはローソンから返却してください。

展 示

- 鳥取県人権文化センター
人権学習資料(ポスター)展
2月26日(金)～3月31日(水)
- 依存症パネル展
(鳥取アディクション連絡会)
3月16日(火)～3月31日(水)

鳥取県立
人権ひろば21
ふらっと

■開館時間 9時～17時(年末年始・祝日は休館)
■電 話 0857-27-2010
■ファクシミリ 0857-21-1714
■電子メール furatto@tottori-jinken.org

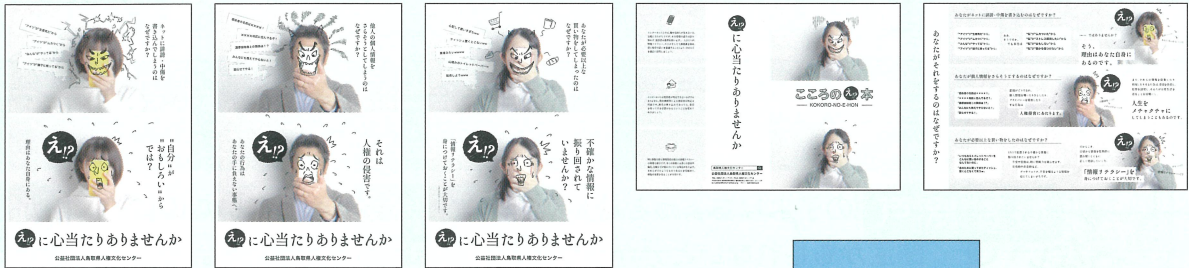


おしらせ

鳥取県人権文化センター作成の啓発物のご案内

■人権学習資料（ポスター（B2判3種類）、リーフレット（A3判2つ折り））

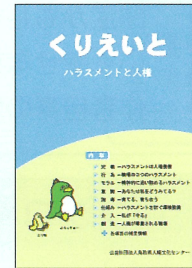
テーマ：インターネットと人権



■人権学習教材（A4判20ページ）

「くりえいと ハラスメントと人権」

職場のハラスメントをなくし、一人ひとりが大切にされる「人権尊重の職場」について考えるための学習教材です。必要なページをコピーしてお使いいただけます。

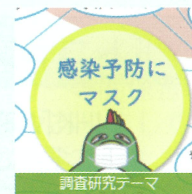


センターHPに調査研究に関するエッセイを掲載しています

今年度から当センターで実施している調査研究について、その進捗状況がわかるエッセイ（小論文）をホームページに掲載しています。ぜひご覧ください。

■各エッセイのタイトル

- ①山間に暮らす高齢者の移動手段と買い物事情
- ②対話 一出会い、そして、より深い学びのために一
- ③「マスク」から考える人権啓発
- ④インターネット上での誹謗中傷等に対する取り組み
～近年の動きから～
- ⑤コロナ禍に考える人権・人権問題 一いまを、共に生きるために一
- ⑥偏見（バイアス）に気づき、向き合うための考察



人権に関する相談

人権に関する問題を一緒に考える相談窓口を設置しています。

- 人権相談日 毎週水・土・日曜日（年末年始・祝日を除く）
9時～17時（当日の相談受付は16時まで）
- 相談専用電話 0857-21-1713

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、面接による相談は30分以内とさせていただきます。できるだけ、電話、ファクシミリ、メールでご連絡、ご相談ください。

ふらっと移転のお知らせ

鳥取県立人権ひろば21“ふらっと”は、今年6月上旬に鳥取県立生涯学習センター（県民ふれあい会館）2階に移転、リニューアルオープンします。

公益社団法人鳥取県人権文化センター

〒680-0846 鳥取県鳥取市扇町21番地 鳥取県立生涯学習センター
【TEL】0857-21-1712 【人権相談専用TEL】0857-21-1713
【FAX】0857-21-1714 【E-mail】t-jinken@tottori-jinken.org
【HP】<https://tottori-jinken.org>

